

2017 年度

公益財団法人東京子ども図書館

# 年次報告

〒 165-0023 東京都中野区江原町 1-19-10

2018 年 7 月発行

Tel. 03-3565-7711 Fax. 03-3565-7712 URL <http://www.tcl.or.jp>

## 読書活動推進計画と「人の問題」

理事長 張替恵子



昨年 7 月から今年 3 月まで、文部科学省から「子供の読書活動推進に関する有識者会議」の委員を委嘱されました。この会議は「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成 13 年)に基づき、5 年毎に定める基本計画の第四次策定に向けて、各分野の意見を聴取するためのものです。委員はほかに、教育学や図書館情報学の研究者、市立図書館長、読書推進団体代表など 12 名。ふだん一堂に会することが稀な方々と意見を交わすことができたのは、国レベルの呼びかけがあったからこそその貴重な体験でした。

それを通じ、日本では 2000 年ころから、子どもの読書に関わる取組が、実に多様に広まったことを実感しました。アニメーション、ブックスタート、朝読、<sup>うきよみ</sup>家読、ピブリオバトル、読書コンシェルジュ、子ども司書、高校生直木賞、絵本専門士……学校や図書館の枠を超え、市町村や県主導の事業も少なくありません。文科省担当者はこのような事例を巧みに取り上げて計画の素案作りを進めましたが、それより何十年も前から続いてきた文庫やお話、読み聞かせボランティアについての言及は手薄な印象でした。そして、私たちがずっと憂慮してきた図書館員の身分についても、残念ながら抜本的な改善の兆しは感じられませんでした。

活字離れ、読解力の低下が言われて久しい中、今回まず課題にあがったのは、50%超を記録した高校生の不読率(1 ヶ月に 1 冊も本を読まなかった割合)。幼少期からメディアに包囲され、受験勉強、部活と追い立てられる身になれば、驚くことではありません。解決策は、子どもの成長に寄り添って本を楽しむ大人がいること、それを援護する図書館が身近にあること、そこに専門知識と技能を備えた図書館員が安定的に配置され、ボランティアとも力を合わせる仕組みがあること。この基盤整備が確かな道だということを重ねて訴えましたが、手応えのないまま第四次計画は 4 月 20 日に閣議決定されました。「司書及び司書補の適切な配置に引き続き努める」という文言に、どれほどの実効性が望めるでしょう。

今後も小さな私立図書館なりに、この「人の問題」に向き合っていきたいと思います。



## 一年のあゆみ

## I 概況

### 4月

- ・第34期お話の講習会開講（7日）
- ・昼のお話会（14日、7/14、10/13、1/26）
- ・かつら文庫 朗読とお話の会（18日、8/22、10/17）
- ・かつら文庫 池田正孝氏S&T（18日、8/22、10/17）

### 5月

- ・児童室こどもの日開館（5日）
- ・『物語の森へ』（児童図書館基本蔵書目録2）刊行（19日）
- ・お話の講習会・特別集中コース（26日、他5回）
- ・記念トーク『物語の森へ』ができるまでと使い方（27日）

### 6月

- ・かつら文庫ギャラリートーク（3日）
- ・杉並区立桃井第二小学校でブックトーク（10日）
- ・児童図書館員のための初級研修プログラム（10日、他7回）
- ・清水眞砂子氏講演会（30日）

### 7月

- ・もりのどくしょ会（1日、他5回）
- ・“なかの育フェス！”に参加（2日）
- ・陸前高田市立小友小学校訪問（4日、10/23、2/5）
- ・児童室夜のお話会（15日）
- ・江古田区民活動センター“平和のバトン事業”に協力（29日）

### 8月

- ・ブックトークの会&蚤の市（3、4日 蚤の市は5日まで）
- ・先輩に聞く 公開講座（26日）

### 9月

- ・松浦弥太郎氏講演会（19日）

### 10月

- ・ワンダ・ガアグ『グリムのむかしばなし』お話会  
（3日、11/2）
- ・もりのどくしょ会スペシャル（21日）
- ・マレットファン講演会（26日）

### 11月

- ・バザー、ブックカフェ（23日）
- ・かつら文庫おばあさんのいす（25日）

### 12月

- ・かつら文庫クリスマス会（9日）
- ・児童室クリスマス会（16日）

### 1月

- ・上村令氏講演会（20日）

### 2月

- ・第33期お話の講習会 修了お話の会（11日）
- ・かつら文庫お雛様公開（15日、他14回）
- ・高橋樹一郎氏講演会（16日）
- ・かつら文庫『三月ひなのつき』を読む会（22日）

### 3月

- ・かつら文庫ひなまつり（3日）
- ・かつら文庫60さい！きねんえんそく&おいわいの会（17日）
- ・賛助会員の集い・研修生発表会（24日）

お待たせしていた、『物語の森へ』（児童図書館基本蔵書目録2）を、5月によく刊行いたしました。約15年かけて取り組んできた甲斐があり、売れ行きも好調で、3ヵ月後には増刷となりました。今年度は、その販売促進のために、講演会をはじめ、「ブックカフェ・もりのなか」の開催や読書会、「ブックトークの会&蚤の市」等、関連イベントを、職員一丸となって実施しました。リストに掲載した本の中で、現在、入手できないものに投票し、復刊を促すための「復刊キャンペーン 今ふたたび、この本を子どもの手に！」は、2019年7月までの継続事業です。（8頁参照）

もうひとつの大きな活動の柱となったのは、「石井桃子生誕110年・かつら文庫60周年記念企画」です。記念講演会「小さな図書館がもたらした大きなこと」や映像作家・森英男氏によるドキュメンタリー映画の新作上映会、『三月ひなのつき』の朗読会等を、企画・実施しました。いずれの行事も、成功裡に終えることができ、新たにかつら文庫を知っていたくためのよい機会となりました。（5頁参照）

児童室では、3歳未満のお子さんをもつ保護者を対象にした「プレ登録」や、「親子いっしょのおはなし会」、若手スタッフの指導による「わらべうたの会」が定着し、子どもとの親密な関係が深まっただけでなく、保護者の方々との距離も近づいたようです。

かつら文庫は、近隣への学校訪問などが功を奏し利用者が増え、しばらくぶりに、小学生の利用が幼児を上回りました。また、4年目に入った大人の方への一般公開にも、たくさんの方が足を運んでくださいました。

広報の面では、ホームページを大幅に刷新することができました。スマートフォンでも見易い画面となりましたので、これまで、当館のことを知らなかった方へも、アプローチするきっかけになりました。facebookを通じて、日々の情報をより速やかに発信できるようになったことも大きな前進です。

2017年度は、『物語の森へ』の売上げがのびたことで、全ての事業を滞りなく終えることができましたが、財政の安定化は引き続き、課題となっております。次年度は、新たな支援事業として、「子どもたちに本を贈ろうプロジェクト」をスタートさせる（12頁参照）



ほか、賛助会員や購読会員の方々など、さらなる支援者の拡大をめざした、「お友だち紹介キャンペーン」を実施しますので、どうぞ、ご協力ください。

## 財務諸表

貸借対照表 2018年3月31日現在(単位:円)

科目	金額	科目	金額
<b>I. 資産の部</b>	<b>802,585,869</b>	<b>II. 負債の部</b>	<b>18,134,460</b>
1. 流動資産	60,675,703	1. 流動負債	18,134,460
現金預金	35,861,701	未払金	969,437
売掛債権	3,518,449	前受金	15,321,060
販売用図書	18,929,420	預り金	1,843,963
機関誌	2,337,233		
前払費用	28,900		
2. 固定資産	741,910,166	<b>III. 正味財産の部</b>	<b>784,451,409</b>
(1) 基本財産	653,799,080	1. 指定正味財産	0
土地	361,224,400	2. 一般正味財産	784,451,409
建物	213,320,702		
著作権	39,253,978		
定期預金	40,000,000		
(2) 特定資産	2,990,520		
(3) その他の固定資産	85,120,566	負債及び正味財産合計	802,585,869

正味財産増減計算書 2017年4月1日から2018年3月31日(単位:円)

### I 一般正味財産増減の部

#### 1. 経常増減の部

##### ① 経常収益

科目	金額
基本財産運用収入	16,661,725
基本財産利息収入	27,996
基本財産印税収入	16,633,729
寄付金収入	16,206,728
助成金	1,250,000
3.11からの出発	2,284,472
一般寄付	11,914,747
みんなで愛蔵版を贈ろうプロジェクト	757,509
賛助会費	14,677,997
事業収入	64,423,633
機関誌購読料	7,706,980
講習会・講演会・お話し	4,406,700
催事収入	731,600
展示物閲覧料	183,500
講師料	7,209,965
登録料	42,000
施設使用料	414,000
出版物売上収入	41,738,808
取材・資料協力費	1,990,080
雑収入	949,223
受取利息	280
有価証券運用益	625,870
雑収益	323,073
当期収入合計	112,919,306

##### ② 経常費用

科目	金額
事業費	97,809,172
人件費	53,739,797
図書館費	130,186
機関誌発行費	4,700,766
講習会・講演会・お話し	1,605,326
調査研究費	647,559
人材育成費	330,951
催事費	175,527
広報活動費	732,096
おばあさんのいす事業	861,418
出版費	15,322,908
在日ブラジル人・読書支援活動	1,153,218
3.11からの出発	5,576,621
一般諸費	3,884,761
減価償却費	5,679,038
諸会費	130,100
租税公課	3,138,900
管理費	10,165,675
人件費	7,643,293
会議費	16,578
事務費	1,214,304
一般諸費	440,118
減価償却費	778,082
諸会費	21,600
租税公課	51,700
経常費用計	107,974,847

#### 2. 経常外増減の部

##### ① 経常外収益

科目	合計
投資有価証券評価益	2,929,015

##### ② 経常外費用

科目	合計
法人税等	70,000

### II 期末正味財産増減の部

科目	合計
当期一般正味財産増減額	7,803,474
正味財産期首残高	776,647,935
正味財産期末残高	784,451,409